

「母の日参り」をPR

—和歌山の花を見て・触れて・創作する—

なき母を思い、墓前を訪ねる「母の日参り」の日が近づいてきました。新型コロナウイルスの感染が広がるなか、大きなイベントはできませんが、本年も関係者の皆様と協力して花の普及につながる取り組みを行いましたので紹介させていただきます。

東京や大阪などで店舗を展開する「レミルフォイユドゥリベルテ」様と連携して「和歌山のシャンペトルブーケ」をテーマに4月2日と9日の2日間PRイベントを開催しました。

シャンペトルとはフランス語で「田舎風」という意味で、カスミソウなど和歌山の花を用い、豊かな自然を感じることのできるブーケレッスンを開催しました。また、レッスン後のティータイムでは和歌山産八朔ジュースも用意されました。



参加した皆様は和歌山の魅力を感じるひとときになるとともに、母の日に向けて花の魅力を再確認されたものと思います。



ジョイフル本田での和歌山フェア

ホームセンターのジョイフル本田「千葉ニュータウン店」で、4月17日（土）～25日（日）までの9日間「和歌山フェア」を開催しました。

今回の取り組みでは㈱日本香堂さまとコラボにより母の日参りの提案売り場を設置し、スターチスやスプレーグクなど和歌山の花を広くPRしました。お客様は花色のカラフルさや花の種類の多さに感心されていました。

(県農野菜花き販売課)